

共に取り組むCO2削減計画こもろ・令和元年度実施報告

	施策	取組内容	担当課	R01年度 実施状況	CO2削減量 (t-CO2)
再生可能エネルギーの利用促進	太陽光発電設備の普及促進	太陽光発電に関する相談窓口の開設や情報発信などにより、市民や事業者の取り組みを支援します。	生活環境課	<ul style="list-style-type: none"> 関係書類を窓口で配布し情報等を市ホームページに掲載。 事業用太陽光発電について、自然環境の適正な保全及び環境への負荷の軽減のため、「小諸市太陽光発電事業の適正な実施に関するガイドライン」を改定。 	
	公共施設への太陽光発電設備の導入	市公共施設への太陽光発電設備設置を継続して実施します。	生活環境課	<ul style="list-style-type: none"> 農産物加工施設へ太陽光発電設備を設置中。(農林課実施、発電容量：5.0kW 所在地：小諸市大字御影新田2107-1) 	9.29
		太陽光発電事業を行う事業者に対して市関連施設の屋根などを貸し出しします。	生活環境課	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設屋根貸し事業を継続し、6施設に太陽光発電設備を設置中。(6施設合計発電容量：610.7kw) 	1134.57
	バイオマスエネルギーの利用	家庭からの廃食用油を収集しペンキ材料として活用します。	生活環境課	<ul style="list-style-type: none"> 廃食用油を拠点回収し、塗料原料へリサイクルした。(回収量9,848kg リサイクル8,800kg) 	
		間伐材の利用を希望する市民に対して市が実施した間伐事業に関する情報提供を行い、バイオマス熱利用の普及を支援します。	農林課	<ul style="list-style-type: none"> パンフレット等の関係書類を窓口で配布。(補助事業は廃止) 	
	未利用エネルギーの利用	地形的な特性を活かした小水力発電などの未利用エネルギーの導入に向け、有効性を研究します。	生活環境課	<ul style="list-style-type: none"> 小水力発電の適地調査の結果、市内では適地なしと判明したが、引続き先進地事例などを研究し未利用エネルギーの有効性を検討。 	
省エネ効果の高い製品の導入	LED照明など省エネ効果の高い製品を導入することで、電力消費の節減に努めます。	危機管理課	<ul style="list-style-type: none"> 設置又は切替えを行った防犯灯56台は、全てLED灯を使用。 		

共に取り組むCO2削減計画こもろ・令和元年度実施報告

	施策	取組内容	担当課	R01年度 実施状況	CO2削減量 (t-CO2)
市民・事業者の活動促進	エコカーの導入	自動車の買い替え等を行う場合は、ハイブリッドカー(HV)や電気自動車(EV)、天然ガス車など、環境負荷の少ない自動車を選択します。	財政課	・公用車としてハイブリッドカー2台を再リースした。(フィット、アクア各1台)	
	環境保全活動などへの積極的な参加	手法や効果、先進的な取り組みについて積極的な情報発信を行います。	生活環境課	・関係書類を窓口で配布。	
	環境に配慮した事業活動	相談員による企業訪問などを通じ、事業活動に必要な情報提供を行います。	商工観光課	・関係書類を窓口で配布。	
		補助金交付や融資制度により、事業者の活動を支援します。	商工観光課	・関係書類を窓口で配布。	
	庁舎内の温室効果ガス排出削減の推進	「エコオフィスこもろ」により、市民や事業者にも率先して省エネ活動を実施します。	施設管理室	・夏季の冷房、冬季の暖房は、原則としてセントラル空調を主として使用し、個別エアコンはセントラル空調で対応できない場合の補助的な使用とする。	
	エコドライブの実施	急発進や急加速は控え、アイドリングストップなどのエコドライブを心掛けます。	生活環境課	・関係書類を窓口で配布。	
		エコドライブに関する情報発信を積極的に行い、エコドライブの普及啓発を図ります。	生活環境課	・関係書類を窓口で配布。	
	環境教育の充実	家庭や職場、地域での環境行動への発展を見据え、「学びのまち・こもろ出前講座」などにおける環境講座の充実を図ります。	生涯学習課	・関係書類を窓口で配布。	
		学校内学習により子ども達の環境に対する意識を深めます。	学校教育課	・各校で計画を立て、畑・田での栽培、動物飼育、リサイクル活動、委員会活動、各校に設置された太陽光発電施設を題材とした学習、ISO推進等を行っている。	

共に取り組むCO2削減計画こもろ・令和元年度実施報告

	施策	取組内容	担当課	R01年度 実施状況	CO2削減量 (t-CO2)
	地元農産物の利用促進	学校給食において、地元農産物や国内産の食材の使用割合を増やします。	学校教育課	・各校で直接地元農家から食材を調達し、配送距離を減らすことでCO2削減に努めている。	
		地産地消の推進、郷土料理の伝承、体験農園の整備のほか、食の安全・環境への配慮を行います。	農林課	・地産地消の推進を図るため、直売所と連携した「夕市」「軽トラック市」を開催 ・地域食材を生かしたレシピ(24節季分)を制作 ・市民農園(体験農園)84人	
	フードマイレージの削減	フードマイレージの考え方の浸透を図るとともに、地産地消を推進します。	農林課		
地域環境の整備及び改善	コンパクトシティの形成	都市計画によって、市中心部に都市機能を集中するように誘導します。	都市計画課	・複合型中心拠点誘導施設整備に伴い、用地補償契約、周辺道路整備、及び施設実施設計業務等を実施。	
	集約都市開発事業	市役所周辺敷地の整備を実施し、都市機能の集約化を進めます。	都市計画課	・複合型中心拠点誘導施設整備に伴い、用地補償契約、周辺道路整備、及び施設実施設計業務等を実施。	
	集約駐車場施設の整備	市役所周辺敷地に集約駐車場敷地を整備し、都市の低炭素化や快適な歩行空間の実現を目指します。	都市計画課	・複合型中心拠点誘導施設整備に伴い、用地補償契約、周辺道路整備、及び施設実施設計業務等を実施。	
	徒歩や自転車、公共交通機関の利用促進	正しい交通ルールを学ぶ機会を設けるなど、自転車を利用しやすい環境を整備します。	生活環境課	・保育園等の交通安全教室の中でイラスト等を使用して交通ルールを学んだ。	
		地域公共交通システムの見直しを行い、利用者の利便性を向上させます。	都市計画課	・現在の運行体系においては、適宜、改善を実施。 ・今後の地域公共交通システムの見直しは、運行事業者と検討中	
ノーマイカーデーの実施	市民や事業者に広く呼びかけるほか、市独自のノーマイカーデーの設定を検討します。	生活環境課	・関係書類を窓口で配布。		

共に取り組むCO2削減計画こもろ・令和元年度実施報告

	施策	取組内容	担当課	R01年度 実施状況	CO2削減量 (t-CO2)
地域環境の整備及び改善	都市緑化の推進	市内におけるグリーンカーテンの普及促進を図ります。	生活環境課	<ul style="list-style-type: none"> 文化センターや小中学校等の関連施設にグリーンカーテンを設置。 	
		公共施設において、緑との調和を考慮します。	生活環境課		
	里山、森林の保全と活用	森林の大切さの啓発に努めます。	農林課	<ul style="list-style-type: none"> パンフレット等の関係書類を窓口で配布。 	
		国や県の補助制度、森林づくり支援交付金などを活用し、市有林や民間林の間伐を行い、広葉樹の発生を促進させ、健全な森林の育成を図ります。	農林課	<ul style="list-style-type: none"> 松くい虫被害木処理 申請件数：102件 処理本数：256本 	
循環型社会の構築	ごみの発生抑制行動の推進	市民や事業者に対し、廃棄物の減量化や再資源化の誘導、指導を行います。	生活環境課	<ul style="list-style-type: none"> ごみの組成調査の結果を広報こもろや出前講座、事業者向け説明会等で周知し、ごみの減量や資源化について啓発を行った。 	
		廃棄物などの不法投棄を監視するためのパトロールを行います。	生活環境課	<ul style="list-style-type: none"> 嘱託職員1名による不法投棄監視パトロール及び不法投棄ごみ回収を週5日実施した。 (回収件数212件、回収量13,258kg) 	
		ごみ減量アドバイザーを中心に、協力店の店頭やイベント会場において、レジ袋削減推進キャンペーンを実施します。	生活環境課	<ul style="list-style-type: none"> 実施なし 	
	ごみの分別の徹底	ごみの分別方法や分別の必要性について周知啓発します。	生活環境課	<ul style="list-style-type: none"> ごみ減量アドバイザーが、出前講座やクリーンヒルこもろ施設見学等において、ごみの分別や減量について啓発を行った。 	

共に取り組むCO2削減計画こもろ・令和元年度実施報告

	施策	取組内容	担当課	R01年度 実施状況	CO2削減量 (t-CO2)
循環型社会の構築	ごみの分別の徹底	環境配慮行動の実践として保育園や学校において資源回収に取り組み、ごみの減量化と資源化に対する意識を培うとともに、地域での資源回収活動を積極的に支援します。	生活環境課	<ul style="list-style-type: none"> 資源回収報奨金を交付し、実施団体への支援を行った。 また、小学校（4年生）が社会科見学でクリーンヒルこもろを見学した際、環境学習スペースにおいて、ごみ減量アドバイザーがごみの分別や減量について啓発を行った。 	
		新たな技術開発や社会情勢の変化などに応じ、ごみの分別と資源化の方法を検討します。	生活環境課	<ul style="list-style-type: none"> ごみ処理技術の動向や、社会情勢の変化に伴うごみ処理関連の情報を収集し、必要に応じて県や他市町村担当者、事業者と情報を共有し、検討を行った。 	
	グリーンコンシューマー活動及びグリーン購入の普及促進	市民、事業者に対し、グリーン購入の啓発を行うとともに、環境にやさしい行動の普及推進を図ります。	生活環境課	<ul style="list-style-type: none"> 関係書類を窓口で配布。 	